

駿河クラブ、初優勝！！

オール浜松（前年準優勝）に逆転勝利！

第64回国民体育大会静岡県選考会

第57回静岡県一般男子ソフトボール選手権大会・兼、第64回国民体育大会静岡県選考会の準決勝・決勝戦が裾野市営球場他で行われ、沼津市の駿河クラブが前年度準優勝のオール浜松を4対2で破り初優勝を飾った。駿河クラブは8月15・16日静岡市清水区でに開催される東海地域ブロック大会で新潟国体出場を賭けて戦う。なお、前年度優勝の静岡選抜は準決勝で駿河クラブに敗れ、連覇は成らなかった。

【準決勝】

オール浜松 6 - 4 オール清水

駿河クラブ 8 - 0 静岡選抜

【決勝】

オール浜松 2000000 2

駿河クラブ 000022X 4

(バ) 吉積一酒井(浜), 釘持一佐野(駿)

【本】漆畑(駿) 【二】漆畑(駿)

2点を先攻された駿河クラブは五回裏、二死・一塁から4番漆畑がライトオーバーのツーランで同点。つづく六回裏、一死二・三塁から杉山が左中間に落として二走者を還し勝ち越し。釘持が七回の浜松の攻撃を無失点に抑え逃げ切った。浜松は六回表に一死、二・三塁の勝ち越しの好機を逸したのが悔やまれる。



駿河クラブ中澤裕介監督の談話



「2点先攻されたが、立ち上がりが遅いのがチームの特徴。逆転はチームのお家芸なので、心配していなかった。釘持は適当に荒れていたんで、相手に球筋を読ませなかった。東海ブロックは県代表として、優勝気分をもったまま、思い切りブツカりたい。打線に磨きをかけ先攻逃げ切りで一戦一戦、戦って行きたい。」

同点ホームランの漆畑知之選手の談話



「打った瞬間、入ると思った。抜いた球を上手捉えることが出来た。東海ブロック大会は強豪チームばかりなので、バットスイングのスピードをあげて、村里君(日本デンソー)の球を打ってみたい。」

釘持有介投手の談話



「初めての優勝なので嬉しい。調子はイマイチだったが被安打4、2失点の結果には満足している。調整不足のため制球が出来ず、球数が増えたのが反省点。」

決勝打を放った杉山浩之選手の談話



「優勝はとても嬉しい。フライの多いバッティングが続いていたので、センター返しに心掛けた。ラッキーな面もあった。指導している生徒達と一緒に国体で頑張りたい、という、気持ちがあった。」